

日本ジオパークネットワークの通常総会に参加しました！

5月29日(金)に、日本ジオパークネットワーク（JGN）の通常総会が茨城県つくば市で行われました。これは、JGNに加盟している全国約50地域が集まって開催されたもので、美祢地域からは村田市長が参加しました。

総会では、JGNの昨年度の活動報告や今年度の活動計画の審議がなされ、村田市長は議事録署名委員を務めました。昨年度のJGNの主な活動は、ジオパークの認定審査を行う現地審査員を対象とした審査基準研究会を開催し、現地審査におけるチェックリストを作成する等、審査基準の一層の透明化を目指した取り組みを行っています。また、ジオパーク関係者の声を集めた機関誌「GEOPARK magazine」を創刊し、更なる情報発信にも努めています。今年度の活動は、地域をいくつかのブロックに分け、ブロックごとのイベントの開催や連携した情報発信に力を入れていく予定となっています。



通常総会にて挨拶する日本ジオパークネットワークの米田徹理事長(新潟県糸魚川市長)

また、昨年10月に、台風第26号による災害を受けた伊豆大島ジオパークから災害の状況報告があり、義援金や多くの励ましの声に対するお礼が述べられました。ジオパーク活動は、地域住民がその地域の特徴をよく知るきっかけになり、その結果、住民の防災意識を高め、こうした自然災害に立ち向かう力を与えられます。



総会での報告を聞く村田市長



日本ジオパーク委員会の尾池和夫委員長(京都造形芸術大学学長)へ挨拶をする村田市長

総会終了後は、国内ジオパークの認定審査機関である日本ジオパーク委員会の委員の先生方を交えてJGNの交流会が開催され、委員の先生方はもちろん、他地域のジオパーク担当職員とも積極的に意見交換を行いました。日本ジオパークの認定を目指す美祢地域は、先行するジオパーク地域から学ぶことも多く、現在抱えている問題点等について、多数のアドバイスをいただくことができました。

協議会では、来年度の日本ジオパーク認定に向けて、今回得られた情報を活用し、美祢地域のジオパーク活動を盛り上げていきます！

m.

That's Mine. It's Mine

**Mine秋吉台
ジオパーク構想**

問合せ先 Mine秋吉台ジオパーク推進協議会事務局（世界ジオパーク推進課内）

☎0837(63)0055 〔☎0837(62)0324〕

野柳地質公園訪問団来訪

5月20日(木)～21日(金)にかけて、今年2月15日(木)に(一社)美祢市観光協会と「観光交流・学術交流促進に関する協定」を締結した台湾 野柳地質公園(新北市)の関係者14人が、今後の交流事業に向けた協議や秋吉台国定公園等の視察を目的に本市を訪問されました。

【市長表敬訪問・贈呈式】

表敬訪問では、今回の訪問団長でもある新空間国際有限公司(野柳地質公園管理運営事業者)劉淑慧(りゅうしゅくけい) 董事長(とうじちよう)より野柳地質公園を代表する奇観である「クィーンズヘッド」のモニュメントと秋芳洞3Dパネルが美祢市に贈られ、美祢市から感謝状と記念品が贈られました。



【地質遺産の保全・活用にかかる意見交換会】

今回の会議の中では、双方の大学関係者(国立台湾大学・国立台湾師範大学、山口大学理学部)の出席をいただき、『地質遺産の保全と活用』をテーマとした意見交換会を実施し、資料の相互提供、研究者の受け入れ(研究交流の促進)、学生の交流、保全活動について協議を行い、今後も連携してPRに取り組んでいくことが確認されました。



【歓迎夕食会】

意見交換会に引き続き、秋芳ロイヤルホテル秋芳館において、(一社)美祢市観光協会の主催による歓迎夕食会が開催され、学術や観光分野における意見交流が積極的に行われ、相互の友情と協力を確認しあいました。

また、アトラクションとして、地元の空手道スポーツ少年団「拳美会」による空手の演武が行われ、訪問団の人々も熱心にご覧になられました。



【現地視察】

翌21日(金)の午前中、訪問団の念願でありました秋芳洞・秋吉台を視察され、雄大に広がる自然の造形美にとても感動しておられました。

また、秋吉台科学博物館においては、学芸員の説明を受けながら館内を視察され、地質等に関する質問をされるなど、熱心に意見交換をされておられました。

